

## P-③-4

# 補完代替医療（CAM）に関する医療系大学生の認識と 学科間における相違

Differences in Knowledge of and Attitudes regarding Complementary and Alternative  
Medicine among Health Care Profession Students

○蔵本 真理<sup>1)</sup>、高田 智子<sup>2)</sup>、今村 麻衣子<sup>3)</sup>、岸田 佐智<sup>3)</sup>、安井 敏之<sup>4)</sup>

- 1) 徳島赤十字病院、2) 特定非営利活動法人 HANDS、
- 3) 徳島大学大学院保健科学部門女性の健康支援看護学分野、
- 4) 徳島大学大学院保健科学部門生殖補助医療学分野

We compared the levels of knowledge of and attitudes toward complementary and alternative medicine (CAM) in different groups of health care profession students. We used a questionnaire to obtain information of knowledge and attitudes for 17 different of CAM modalities. Knowledge of CAM differed depending on the CAM therapy in all students. Nursing students had high levels of interest in massage, aromatherapy, yoga and chiropractic. The proportions of nursing students with high levels of interest in these CAM therapies were significantly higher than the proportions in other groups of health profession students. Nursing students tend to have positive and favorable attitudes toward CAM compared to other groups of health care profession students.

### 【目的】

医療系大学生の CAM に関する認識と学科間の相違について調査を行い、実態を明らかにする。

### 【方法】

A 大学で学ぶ医学科、看護学・助産学、放射線技術科学、検査技術科学、栄養学科、歯学科、口腔保健学科、薬学部の学部学生 2120 名を対象に、無記名の構成的質問紙票によるアンケート調査を行った。調査内容は、属性および 17 種類の CAM (1.鍼灸 2.アーユルベータ 3.ホメオパシー 4.あんま・指圧・マッサージ 5.整体 6.リフレクソロジー 7.漢方薬 8.西洋ハーブ 9.アロマセラピー 10.食事療法 11.サプリメント 12.精神療法 13.バイオフィードバック 14.ヨガ 15.温泉療法 16.音楽療法 17.気功) について、1) 認知度 2) 情報源 3) 使用経験 4) 興味関心 5) 講義の受講希望 6) 有効性 7) 他者への推奨の 7 項目を質問した。

### 【結果】

医療系大学生の CAM に対する認識は、CAM の種類や学科によって差がみられることが明らかになった。看護・助産学学生は、CAM に対して肯定的で積極的な傾向が認められ、マッサージ、アロマセラピー、ヨガ、整体、精神療法については、「興味関心」と「有効性」が他学科の学生より有意に高かった ( $p<0.05$ )。

### 【結論】

看護・助産学学生は、他の学科の学生に比べて CAM に対して積極的であった。CAM は、高価な物品等を必要とせず、臨床ですぐに実践できる手技・手法であり、看護ケアに有用な CAM であることが示唆された。これらの CAM の知識と情報を学生に提供し、臨床の中に取り入れ有効性や安全性のエビデンスを構築し、医療の質の向上に繋げていく取り組みが必要であると考えられた。